

桃の節句

ゆ
の
さ
と



発行責任者 原修一
湯の里・黒松内
〒048-0101
北海道寿都郡黒松内町
字黒松内565-11
TEL 0136-77-2120
ホームページ
<https://www.tsunshien.co.jp/>

3月誕生者様



高島海子様76歳

神哲夫様87歳

丸山和子様88歳

武蔵ヨシエ様90歳

田代光男様73歳

仁藤みよ様100歳!

田村秀悦様91歳

湯山エミ子様93歳

朝日三枝様93歳



職員募集中

湯の里・黒松内では、介護士・看護師・セラピストの職員を随時募集しています。郊外の老健施設の強みとして、近隣の市町村にもご声援、ご支援を頂きながら地域密着型の施設として稼働しております。

- ・技能実習生や、全国に先駆けた特定技能実習生も元気に働いており、国際色も豊かな魅力的な職場となっております。
- ・また、法人として保育園を運営や、施設住宅も完備しており、子育て世代や一人暮らしの方でも安心して働いていただけます。
- ・利便性では都市部には劣るものの、田舎ならではのどかな環境で家庭菜園を楽しんだり自然を満喫しながら周辺を散歩すると、都市部では味わえない清々しい気持ちになると思います。

気になった方はぜひお気軽にご連絡ください。
湯の里・黒松内 TEL 0136-77-2120
人事担当 嶋・中山



ひ孫元気
尻上げて
跳んでるよ

今月の川柳

慧子

令和4年 湯の里黒松内 事業計画・予算案

①基本方針

介護老人保健施設湯の里・黒松内は、老健施設の使命というべき「在宅復帰施設」として位置づけられております。利用者一人ひとりが心豊かで快適な生活ができるよう、利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援して参ります。老健施設としての『多職種協働、多様なニーズに多機能なサービスで応える』姿勢で事業展開を適正に保てるよう努力して参ります。

また、科学的介護（LIFE）の作成、ICT機器の活用による業務の効率化を図って参ります。地域や家庭との結びつけを重視した運営を行い、市町村や保健・医療機関、その他の関係機関との密接な連携を図ります。さらに利用者及びご家族等からのいかなる相談にも親切・丁寧に対応し皆様に信頼されるよう努力致します。

拠点内では、短期入所事業、通所事業、訪問事業など在宅サービスを支える事業があり、地域からの一層の信用と信頼を受け黒松内町をはじめとする近隣町村の方々のご支援を得てしっかりとサービスの提供に努めて参ります。

②重点目標

- 1、利用者様一人ひとりが、心豊かで快適な生活ができよう努めて参ります。
(信頼関係の構築、生活歴・習慣に配慮した支援、しっかりとしたりハビリテーションの提供)
- 2、ご家族・利用者様に安心・安全なサービスを提供できるように努めて参ります。
(事故リスクの軽減、しっかりとした感染症対策、様々な災害対策)
- 3、施設全体が明るく利用者様が職員に気兼ねなく声を掛けるように努めて参ります。
(利用者は人生の先輩であるという意識の上で信頼関係と基本的な接遇マナーを常に頭に入れ接する)
- 4、職員間の良好な関係の構築と心身の健康づくりに努めて参ります。
(職員間の良好な信頼関係、何事も気兼ねなく言える職場風土、健康診断の取組)
- 5、職員一人ひとりが経営に対する意識を持ち組織機能の評価、運営、コストに対する意識を高めます。
(業務改善、ICT導入による業務の効率化、スキルアップに必要な教育、研修制度)
- 6、法人内（養護・特養・老健）の高齢者施設の一体感のある連携に努めて参ります。
(個々の利用者に適した施設利用、法人高齢者部門の関係の強化)
- 7、施設機能の提供と地域貢献に努めて参ります。
(実習生・職場体験の積極的な受け入れ、福祉授業での訪問、町内行事への参加など)

収入	【単位:千円】
科目	予算額
介護保険事業収入	409,149
経常経費寄付金収入	300
受取利息配当金	1
その他の収入	1,650
施設整備等補助金収入	0
設備資金借入金収入	63,000
積立資産取崩収入	400
拠点区分間繰入金収入	2,240
収入合計(A)	476,740

支出	【単位:千円】
科目	予算額
人件費支出	253,200
事業費支出	73,950
事務費支出	37,625
利用者負担軽減額	1,900
支払利息	400
その他の支出	24,149
設備資金借入金元金償還支出	45,325
固定資産取得支出	26,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,592
退職給与引当資産支出	5,800
拠点区分間繰入金支出	2,000
支出合計(B)	474,941

予備費(C)	0
当期資金収支差額 ①=(A)-(B)-(C)	1,799

前期末支払資金残高②	22,527
当期末支払資金残高①+②	24,326

施設長挨拶

令和4年度の始まりにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃から当施設の運営に関しまして多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度は、給湯設備の故障、電気設備の故障など施設設備に関する故障の為、利用者の皆様にはご不便をお掛けしました。これらについては、しっかりと修繕を行い、ご不便のないようにしてゆきます。

今年度については、上段にも記載しております基本方針、重点目標をしっかりと掲げ着実に進めて参ります。3月21日に北海道蔓延防止措置が解除となりましたが、目標にもあるように「ご家族、利用者」に安心・安全なサービス提供「ができるように感染症対策を進めます。その中で施設内行事等の見直しなども行い施設全体が明るく利用者の皆様が気兼ねなく職員へ声を掛けられるように努めて参ります。

私たち職員は老人保健施設の職員として人生の先輩である皆様にとりましてサービス提供を行います。最後になりましたが、今後とも湯の里・黒松内の運営に関しましてご支援・ご協力を宜しくお願い致します。